

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	和光市児童発達支援センター やまぼうし		13件	公表日	2026 年 3月 26日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導の空間としては不十分だと思いますが、簡易的なパーテーションで区切っている ・狭いので工夫しています。 ・人数が多い時は、分けて調整して広く活動出来るようにしている。 ・静養室、廊下、玄関前スペースなど空いている場所も利用している。 ・手作りの仕切りなどを利用して、個別療育をしている。 ・お子さんの年齢特徴により教室と広場に分けて療育している(車椅子が居る日と居ない日) ・部屋の使い方など ・支援室の使い方を、事前に確認している。 ・人数、別室を設けての活動計画 ・手製の仕切りを使用したり、廊下を使用せざるを得ない状況もある ・スタッフ間での話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル掛けが低くタオルが床に着いてしまう。 ・増築により園庭が狭くなるので夏場の水遊びや砂場遊びが難しくなるのではないかと子供たちが室内でも如何に楽しく過ごせるかを工夫しなければならぬ ・児童と放デイでの支援室確保。 ・増築で、部屋の使い方が変わると思うのです、どうしたら有効活用できるか話し合いが必要。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・体調不良など急な職員の休みの時には事務のスタッフや放デイのスタッフもヘルプに頼める。 ・とにかく職員のタイムスケジュール ・声をかけ合っている ・チームワークで乗り切っている ・スタッフ間での話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が休む場合もあるのでもう少し人員に余裕が出来るとよい。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーはその日に登園する子どもが使えるようにマグネットで取り外しができる。わかりやすい。 ・構造化をすすめている。 ・都度考えながら進めているが、わかりやすい構造化にはまだ至っていない。望ましい形がわからない。みんなで検討する時間が持てない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンがあるが施設的にいらなかったと思う。 ・物を置く場所を増やして欲しい。 ・1年生から6年間に体格が変わるので机や椅子も同サイズではなくSとMを必要とする ・現状も基本的な提示はできているが、よりわかりやすい構造化。 ・幅広い年齢層なので、適切な環境作りが難しいと思うが、できることから 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除消毒はかかさないようにしている。 ・年齢、人数にあわせた、環境設定をしている。 ・日々の清掃、定期的な空調のお手入れはできる範囲で丁寧に行うことを心がけている(スタッフみんなが) 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・廊下なども利用して個別を行っている。 ・個別をするためにパーテーションで区切っている。 ・スタッフが声を掛け合ってお互いに使えるようにしている。 ・お互い譲り合っている ・廊下も活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し個室を増やしても良いと思う。 ・時期によっては部屋が足りず使用できない時もあるが、お互いに声を掛け合っている(児童・放デイ) 	
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・意見を言い合える雰囲気 ・現在の様な定期的な会議は必須 ・毎日の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期のサイクルの共通認識 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施など ・連絡帳により保護者からの子供の様子は必ず職員間で周知している 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークを大切にしている ・問題定義に関して短期的に解決している 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所との間の相互監査を導入している 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、設けなければならないと考えます 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研修などの機会が多いと思う ・保護者向けの講座を後から映像で共有してもらえようになり、学ぶ機会に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やるようにしています。 ・前年度までに比べて研修も増え良い。 	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・丁寧な保護者対応 ・児発管が適切に行い、スタッフに共有してくれている	・より職員への周知
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・常に話し合いをし、わからないところを教えてもらえる。 ・支援プログラムを共有するため、日々カンファレンスをおこなっている。 ・話し合いをもつ	・少し足りないかもしれませんが ・より職員への周知
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・みんながわかるように回覧などしてくれている。 ・機会をとらえ見直す	・より職員への周知
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		実行しています。	・地域支援・地域連携については課題がある
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・話し合いの場を設けている。 ・日々の活動内容や個別担当者を当日のミーティングで決定している	・課題はあるが、児発管・専門職（OT）にアドバイスをもらいながら、それぞれのスタッフも意見を出し合い検討できるようになってきている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・教え合える雰囲気になっている。 ・季節の催しや誕生日等を工夫している ・固定が必要なお子さんには時にプログラムを統一している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のミーティングで確認を行っています。	・見通しをもつ ・事前の計画
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・丁寧に行っている ・毎日決まった時間に振り返りをしている。	・ポイントを抑える
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・担当者が必ず記録を残している ・後日見返している	・時間がなく十分ではないと思うので、時間の調整
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		3ヵ月、6ヵ月のモニタリングを行い、その内容を職員に伝えるようにしています。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管だけでなく、クラス担当も参加してもらうようにしています。医療的ケア児については、看護師にも同席してもらう	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者への丁寧な説明を行い、相談にも乗っています。特に、幼稚園入園、就学に向けての相談などに乗るようにしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・学校での様子や体調、食欲、排尿、排便の情報共有している	・学校連携体制を構築する。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○				

この連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		・所長、副所長、児発管等が参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	-	-		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		×	・少ないのでやる必要があると思う。	・今後の検討課題
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時に保護者と話す事は重要だと思う	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・児発管や外部講師を呼んで開催している	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明をするようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		できるだけそうするようにしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		1項目ごとに説明を行い、同意を得ています。その際保護者の思いを引き出すように話をします。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		お子さんへの関わり方などで悩んでいる時に声をかけ、時間をつくるようにしていますクラスから要請がくることもあるので応じます。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・ママカフェや夏祭り等保護者同士の交流を深めるイベントを行っている	・機会が増えてきているので、これからの発展に期待
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		できるだけ迅速に行うようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		児発たよりを毎月発行し、療育の様子や予定などを伝えるようにしています。	・SNSを利用される方が多い。発信増加が利用者の増加にもつながるのではないかと
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に注意をしています。	
非常時等の対応	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報伝達の漏れを防ぐために、職員間の共有をしっかりと行うようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		社協などと共催で、子ども食堂などを開き、センターのことを知ってもらっています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		行っています。 ・マニュアルの作成と周知。 ・更なる機会の増加	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師が、子どもの状況を把握し、職員と共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		管理栄養士が、その子の状況を把握し、指示書の提出をお願いしています定期的に観察も行っています	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		行っています。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事案があったら共有し合うようにしている。 ・ヒヤリハットがあった場合必ず職員間で共有し今後の改善に務めている 	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修会を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束時のルールについては、保護者には契約時に説明しています	・虐待、身体拘束の要件の周知。